

【Sir. Ganga Ram Hospital】

(平成 25 年 8 月 2 日訪問)



オールドデリーの中心部、インド門の近くに所在する 750 床（現時点）の大規模総合病院です。1921 年に現パキスタンのラホールに設立された同名の病院が、1953 年にデリーに設立した 50 床の分院が始まりです。私立病院なのですが、Sir Ganga Ram Trust が運営するトラスト病院であり、貧困層に無料で医療を提供するチャリティ部門が特徴的で、入院病床の約 20%がチャリティ部門の無料病床です。

設備は最新鋭の医療機器がそろっており、ロボット手術、PET-CT、CT-angio などがあります。

11 エーカーの敷地に、本院（旧病棟）、新病棟、看護学校などが建てられています。敷地内は多くの患者と付き添いで混み合っています。

診療科は、一般内科、循環器科、呼吸器科、血液内科、内分泌内科、消化器科、腎臓内科、神経科、精神科、腫瘍内科、小児循環器科、一般小児科、睡眠科、リウマチ科、輸血科（血液バンク）、循環器外科、歯科、一般外科、ロボット手術外科、脳神経外科、整形外科、腫瘍外科、麻酔科、集中治療科、救急外来、新生児科、核医学、小児外科、血管外科、形成外科、腎移植外科、脊髄外科、消化器・肝臓移植外科、乳腺クリニック、不妊治療センター、皮膚科、耳鼻科、産婦人科、眼科、泌尿器科、放射線科、リハビリ科など、ほとんどの診療科が設けられています。

手術室は新病等に 20 室、本院に 4 室あり、合計で毎日 100 件以上の手術が行われているとのこと。訪問した日も 20 室のほとんどで手術が行われており、各手術室のこの日の手術予定表には 3、4 件の手術（ほとんどが全身麻酔の手術）が予定されていました。



（生体肝移植手術も行われていた。）

ICU は 34 床あり、うち 10 床は隔離病床。全病床に人工呼吸器が設置され、患者：看護師＝1.3：1 でケアを行っているそうです。

救急外来には、救急車が 6 台。犬などにかまれた場合の狂犬病のワクチンおよび狂犬病免疫グロブリン（RIG）が常備され、RIG はインド製を使用しているとのこと。

院内の薬局には、オセタミビルなどの抗インフルエンザウイルス薬の在庫があるとの説明でした。

血液バンクでは、常時十分な血液備蓄があるといい、B 型肝炎、C 型肝炎、HIV、梅毒、マラリアのスクリーニングをクリアした血液のみが使用されているとのこと。

有料病床の室料は、Premium Suite（個室）：Rs.12,000/日、Suite（個室）：Rs.10,000/日、Delux（個室）：Rs. 7,500/日、Single Room（個室）：Rs.5,600/日、2 人部屋：Rs.4,200/日、3 人部屋：Rs.3,500/日、4 人部屋：Rs.Rs.2,800/日、産科 Suite（個室）：Rs.7,500/日などとなっています。他にも複数の病室カテゴリーがあり。

診療時間:月曜日～土曜日（医師により診察曜日、時間は異なります）

(情報はすべて訪問時現在のものです)

(病院住所) Rajinder Nagar, New Delhi 110060

(電話) +91-11-2575-0000 , +91-11-4225-4000

(FAX) +91-11-2586-1002

(ウェブページ) <http://www.sgrh.com/>